シグナス新聞

鳥取看護大学
鳥取短期大学
新聞会
倉吉市福庭854
電話(0858)26-1811

祝 130号記念号

ありがとう 山田修平先生 ～感謝～

鳥取短期大学 学長
山田修平 先生

鳥取短期大学の学長を務める山田修平先生が、今年3月末で学長をご退任されることになりました。先生は昭和54年、鳥取女子短期大学に講師として着任し、助教授・教授を経て、平成14年学長に就任されました。また、新聞会を創部し36年間顧問を務めていただきました。

残り約2ヶ月の教員生活となった、先生の今の心境をインタビューしました。

◆36年間の教員生活で印象に残っている出来事を教えてください。

日常の出来事の中では、学生と心が通じ合えたとき、また卒業生が成長し社会で活躍しているのを見るのは本当に嬉しいことです。

大きな出来事としては、平成13年の男女共学化と平成27年に看護大学が開学したことです。

◆平成14年、学長に就任された時の心境はいかがでしたか。

素直に受けました。受けたかぎりは、「日本一の短大にしたい」という思いがありました。

◆学長としては残り約2ヶ月となりましたが、しておきたいことなどありますか。

身の周りの掃除かな。教員としては満足のできる授業が、1回でも多くできたら良いと思います。何十年と教員をしてきても多人数の学生に授業をすることは難しく、今まで自分が納得できる授業ができたのはほんの数回ですね。

◆とりたん、看護大学の学生にどのような印象をお持ちですか。

素直で優しい学生が多いと思います。素直ということは、伸びしろがあるということです。また、良い意味で素朴な感じがします。

◆学内でのお気に入りの場所を教えてください。

とりたんプラザです。憩いの場として、天気の良い日に、学生たちがたむろし、くつろいでいるのを見るのは好きです。

◆来年春からの予定を教えていただけますか。

仕事以外のことを話します。趣味で水泳とジョギングをしており、さらに昨年の誕生日に家族からロードバイクをプレゼントしてもらったので、いつかトライアスロンに挑戦しようかと思っています。

また、ボランティアで、鳥取県中部で開催される、ウォーキングの世界大会「WTC ワールド トレイルズ カンファレンス」の大会長を務めます。

◆教員、学長として過ごしたとりたんでの生活を一言で表すとどのような言葉になりますか。

「充実」ですね。学生と関わる事を中心に教職員の方、地域のみなさんとの交流、そして「絶えざる改革」ととても充実していました。

◆最後に学生にメッセージをお願いします。

未来の未来は、現在です。若者は全力で今を生きることです。それが未来に繋がります。学ぶことで世界を広げることができます。世界を大きく広げると同時に、あいさつをする、時間を守る等という身近な足元の実践も大切にしてください。

●新聞会での一番の思い出を教えてください。

どの期もいろいろな学生がいてとても懐かしいですが、新聞会をつくった一期生との出会いは特に思い出深いです。何十年たった今でも交流は続いています。昨年の誕生日、70歳のお祝いには、一期生がオープンしたお店での食事会に招待してくれ、ネクタイとオーダーメイドのワイシャツをプレゼントしてくれました。あとは、男女共学になった年には、男子学生もたくさん入会してくれて賑やかになりました。あっ、もちろん今の新聞会メンバーも好きですよ（笑）。

●今回の新聞で130号を迎えます。今どのようなお気持ちでしょうか。

学生たちがよくタスキを繋いでくれたと思います。新聞会を立ち上げてから、一度も新聞発行が途切れることがありませんでした。2年サイクルで学生が入れ替わる短大において、ずっと続けていくことができたのは、すごいことです。長い歴史の中では、部員が二人の時代もありました。二人でよくやってくれたと思います。継続することの意味を実感しますね。

●先生にとって新聞会は、どのような存在でしたか。

私にとっては、単位のない特別研究でした。新聞会にはいろいろな学生が在籍し、学科の枠を越えて交流ができていたことで、自由な発想で新聞をつくることができていたと思います。様々な学生がいて、それぞれが得意な分野、不得意な分野を持ち、それをお互いが助け合い、刺激し合っていました。同じ学生でも、私が授業中に教室で見る姿と新聞会で見る姿はまた異なって見えました。学生たちを見る目が豊かになりましたね。

インタビュー中は、笑いの絶えない楽しい時間を過ごしました。山田学長先生といえば、体育祭の開会式で前転を披露したり、授業の間には毎回、肩たたきや背伸びをしたりと、先生との思い出を思い浮かべることができる人も多いのではないでしょうか。先生は学生との交流を大切にしてくださっています。まだ先生と会話したことのない方は、是非声をかけてみてください。まぶしい笑顔で会話してくださる素敵な先生です☆

祝 新聞130号完成!!

1月9日に学生会館で新聞会OB・OG会を開催しました。歴代の先輩方に声を掛け、約40名の方にお集まりいただきました。

お話を聞く中で、先輩方が今でも新聞会と山田先生のことを大切に思っておられることが伝わってきました。130号を迎えられたのは、先輩方のこうした気持ちがあったからだと思います。

☆執行部☆ 新メンバー決定

去る11月、選挙により平成28年度学友会役員が決定しました。看護大生も加わり新しい風が吹きそうな予感です。

今回は役員を代表して学友会長、副会長にインタビューさせていただきました。

①立候補した理由
②どんな活動がしたいですか？
③将来の夢

【学友会長】

●村松　ほの香さん

①楽しいイベントがしたいと思ったからです。

②役員に初めて看護大生も加わり、協力してみんなが充実した大学生活を過ごせる大学になるよう考えていきたいです。

③持ち前の明るさと元気さを生かして、沢山の人々と交流できる仕事がしたいです。

【副会長】

●荒木　萌美さん

①クラスで代議員をやっていたこともあり、先生や友達に勧められたからです。とりたんと看護大のつなぎ役として何かできることがあるならやってみようと思いました。

②今は学友会や日常生活でもとりたん主体ですが、とりたん学生とも仲良くなってどちらも対等に尊重し合えるような大学にしたいです。

③人としても輝いている看護師になりたいです。

【副会長】

●田中　真由さん

①イベントに深く関わりたいと考えたからです。

②記念に残るようなイベントを作りたいです。

③栄養士です。

ありがとうございました。看護大生も新たに加わり、新しい学友会のスタートです！

2015年 シグナス NEWS

5月 体育祭

6月 √るーと fresh

NHK鳥取で放送されている視聴者参加型のバラエティ番組、√るーと high↑2の初めての公開生放送が鳥取看護大学、鳥取短期大学で行われました。

Q1 看護大生・とりたん生の印象は？ **A1** 全員が学歌を歌えるところがすごい！

Q2 若い世代に伝えたいことは？

A2 死なないために生きるよりも生きるために生きる
マンボウやしろさん

A2 27歳くらいまでは絶対うまくいかないから諦めず頑張ろう
ハイキングウォーキング　松田さん

8月 打吹天女コンテスト

Q 打吹天女に選ばれて何か変わりましたか？

高橋　真由美さん（看護大職員）
学生さんに「天女さん！」と声をかけていただいたり、名前を憶えてもらえてとても嬉しいです。倉吉市のPR頑張ります！（写真右）

田中　圭さん（看護大一年）
よく声をかけられるようになりました。モテるようになったかも（笑）。将来は倉吉市で看護師になりたいです！（写真左）

10月 シグナス祭

トキャラ表彰式

❖最優秀賞　布野サクラさん　ちゅん太（隊長）
❖優 秀 賞　中嶋　舞香さん　すたぴぃくん(広報部隊)
❖館 長 賞　山田　祐大さん　ふう太(広報部隊)
❖アイディア賞　本田　晃平さん　バードブックオー(防衛部隊)

おめでとうございます！

いざ、看護大&とりたん結束へ

鳥取看護大学の開学からもうすぐ1年。私たち看護大・とりたん両学の学生は、学友会行事やクラブ・同好会活動を通して、そしてシグナス寮での寮生活で大学の枠を越えた交流を深めてきました。

体育祭では青いユニフォームに身を包んだ看護大生のパワフルな綱引きが印象的でしたね。準備期間には両学の学生が学友会室で作業する姿がよく見られました。

クラブ・同好会活動は体育会系の部を中心に看護大生の入部もあります。

シグナス寮には96部屋中74部屋に学生が入寮しています。74部屋の内54部屋がとりたんの学生で、残り20部屋は看護大の学生です。部屋割りは両学混合となります。

しかし全体的に見るとまだ交流は充分とは思えません。同じ法人の、同じキャンパスにある二つの大学です。さらに交流が進められればと思います。

そこで今回、新聞会では大学併設のメリットを提示し、次年度に向けて、交流促進のアイデアを提案してみたいと思います。

大学併設のメリット

新聞会を例にしてメリットを提示したいと思います。

現在新聞会のメンバー比率は国際文化交流学科が高めなので新聞の内容も国際の学科らしさが光ったものになります。

ですが、食物栄養専攻の学生にしか見えてこない内容があり、福祉専攻の学生にしか思いつけないアイデアがあります。

様々な視点からみて、熟慮することで伝わりやすい記事を書くことができます。

さらにここに看護大学という新たなエッセンスを加えることで、さらに分かりやすく魅力ある新聞に近づくことが出来るでしょう。

この看護大生の入部による新たな価値発見は新聞会だけではなくほかのクラブ・同好会にもいえるのではないでしょうか。

「学ぶ内容が全く異なった学生同士がサークル活動などを通し交流できる環境がある」これがこのキャンパスのメリットの一つです。

来年度からは学友会執行部に看護大学の学生が加わるので、今年度よりもさらに一体感は強まると思います。執行部を中心に私たち学友会員一人一人が両学の交流を意識して触発しあいながら、ここだけにしかないキャンパスライフを創っていきましょう。

新聞会からの提案

●クラブ・同好会の顧問を２人体制にして、看護大・短大それぞれから１名ずつの先生にお願いしてはどうか。

●寮生の交流会に寮生以外が参加できるときもあれば交流しやすいのでは。

●鳥取看護大学も「とりたん」のように「愛称」と「キャラクター」を作ればもっと親しみやすくなると思う。

2016年

平成27年度　特別研究成果発表日程

【本科】

◇国際文化交流学科
2月2日(火)13時～15時30分
大講義室

◇生活学科　情報・経営専攻
2月1日(月)10時45分～16時15分
大講義室

◇生活学科　住居・デザイン専攻
2月4日(木)13時～16時15分
A202

◇幼児教育保育学科
・実技発表
1月30日(土)14時～16時
倉吉未来中心
・口頭発表
2月5日(金)14時45分～16時15分
大講義室

【専攻科】

◇経営情報専攻
2月1日(月)10時45分～16時15分
大講義室

◇住居・デザイン専攻
2月4日(木)13時～16時15分
A202

◇福祉専攻
・口頭発表
2月5日(金)14時45分～16時15分
大講義室
・展示
2月1日(月)～5日(金)
図書館（本館）

編集後記

新聞会の2年生と専攻科生にとっては今号が最後の新聞づくりになりました。今号も含め季刊で4回発行したシグナス新聞はいかがでしたか。みなさんの学生生活に少しでも彩りを添えることができたなら嬉しく思います。

新聞会は、「充実した学生生活を送りたい！」と思った先輩たちが、山田修平先生に相談を持ちかけたことがきっかけになり発足した団体です。

歴代の先輩方が途切れることなくタスキを繋いでこられたおかげで、私たちも充実した学生生活を送ることができました。後輩にもぜひがんばってもらいたいです。

最後になりましたが、前身の鳥取女子短期大学赴任直後から36年間の長きにわたり、新聞会の顧問としてご指導をいただきました山田学長先生に部員一同心より感謝を申し上げます。

第36期部長　田中祐貴

入部お待ちしてます!!

《編集担当》

国際文化交流学科
田中　祐貴（2年）
田村　優衣（2年）
牧野　莉央（2年）
山根　加奈子（2年）
萩原　秦（1年）
福田　悦子（1年）
食物栄養専攻
矢部　友理子（2年）
専攻科福祉専攻
井上　安梨沙（1年）
専攻科食物栄養専攻
北垣　曜（1年）